

平成24年(2012年)3月期
決算報告
(連結ベース)

2012年5月10日

東芝機械株式会社

決算概要

2

(単位:億円)

2011年度
1米ドル=78円

2010年度
1米ドル=82円

	2011年 (H23年) (A)	2010年 (H22年) (B)	差異 (A-B)	2011年公表見込 (2011/10/31) (C)	差異 (A-C)
売上高	1,195	957	238	1,160	35
営業利益	(6.2%) 74	(4.2%) 40	(+2.0%) 34	(6.2%) 72	(+0.0%) 2
経常利益	(7.5%) 89	(4.0%) 38	(+3.5%) 51	(6.6%) 77	(+0.9%) 12
当期純利益	(5.6%) 67	(3.4%) 33	(+2.2%) 34	(5.0%) 58	(+0.6%) 9
受注高	1,231	1,041	190	1,220	11
受注残高	599	564	35	624	△ 25

円高による競争激化、利益率の悪化、一部震災の影響等があったが、中国をはじめとしたアジアの新興国、北米などの堅調な需要に加え、タイの洪水復旧需要により、売上は全セグメント、前期比増収。公表見込を上回る。

営業利益は全セグメント黒字。営業利益・経常利益・当期純利益とも、公表見込を上回った。

持分法投資損益(NFT)、為替差損益の改善等により経常利益が好転。

【成形機】

- ・射出成形機は、中国、東南アジア等の新興国および北米の自動車・家電関連業界向けを中心に堅調な需要に加え、タイの洪水復旧需要により、増収・増益。
- ・ダイカストマシンは、中国、東南アジア等の新興国、北米の二輪・自動車関連業界向けが堅調な需要で、増収・増益。
- ・押出成形機は、国内外の二次電池や光学関連業界向けに堅調な需要が続き、増収・増益。

【工作機械】

中国、東南アジア等の新興国、北米の重電、建設機械、産業機械関連業界向けを中心に需要が堅調。

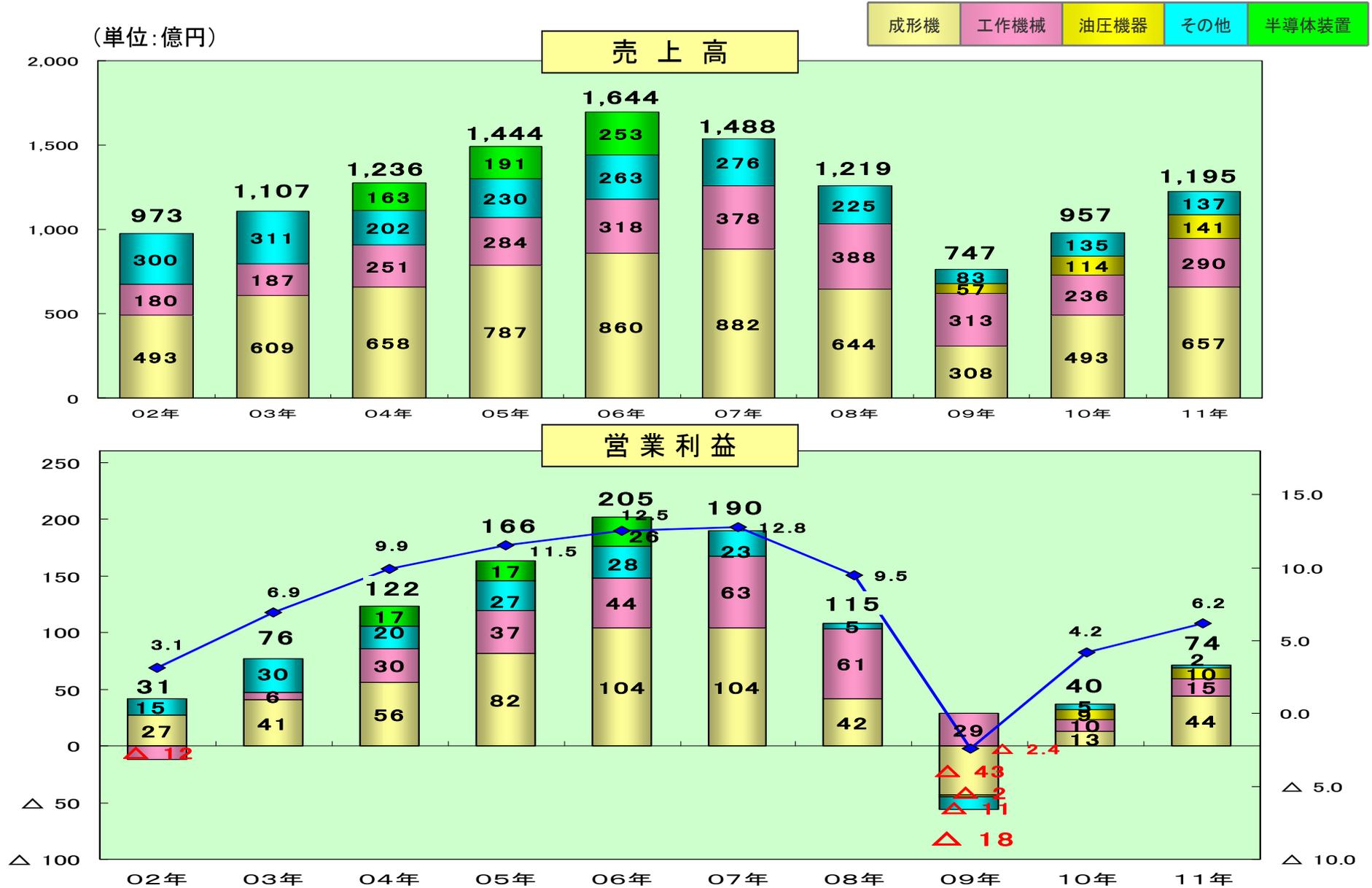
【油圧機器】

東アジアを中心とした建設機械業界向けに需要が好調。

【その他】

制御装置は、国内外の自動車関連の工作機械、産業機械業界向けに需要が続いたが、中国関連の需要が減少。

売上高・営業利益推移(セグメント)

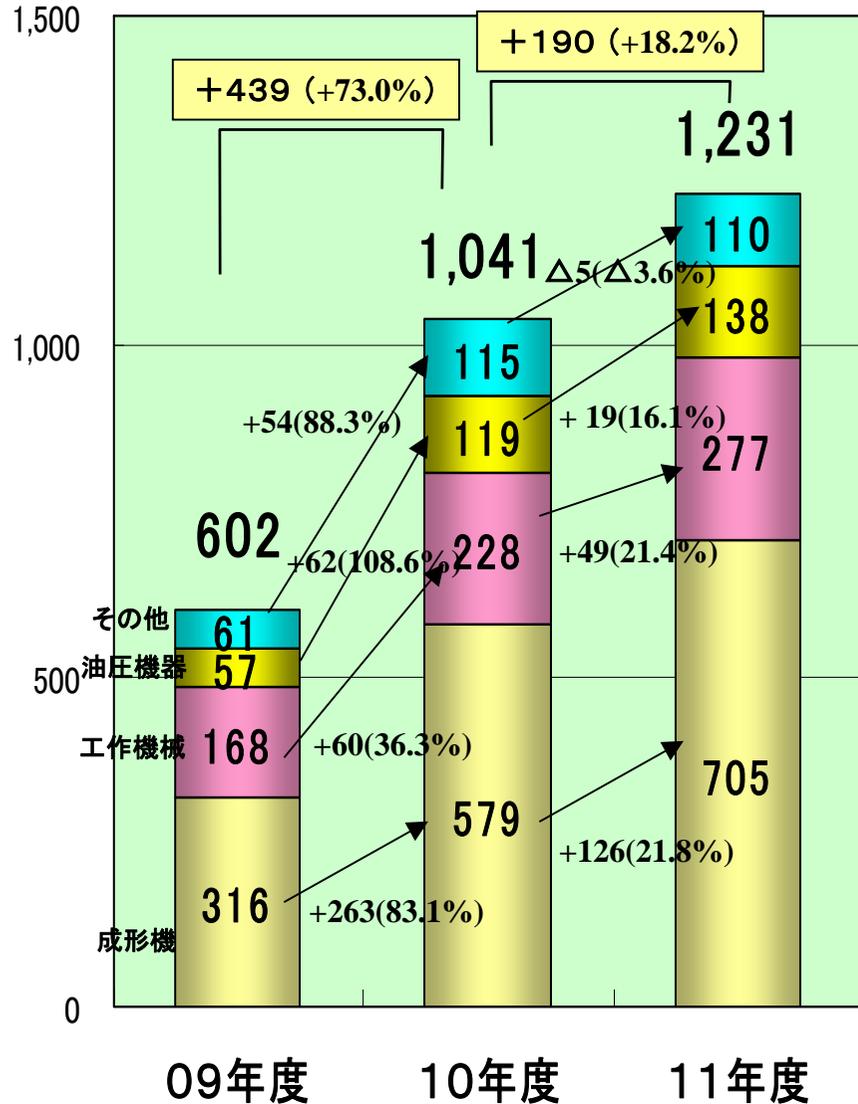


受注高(セグメント)

売上高(セグメント) 5

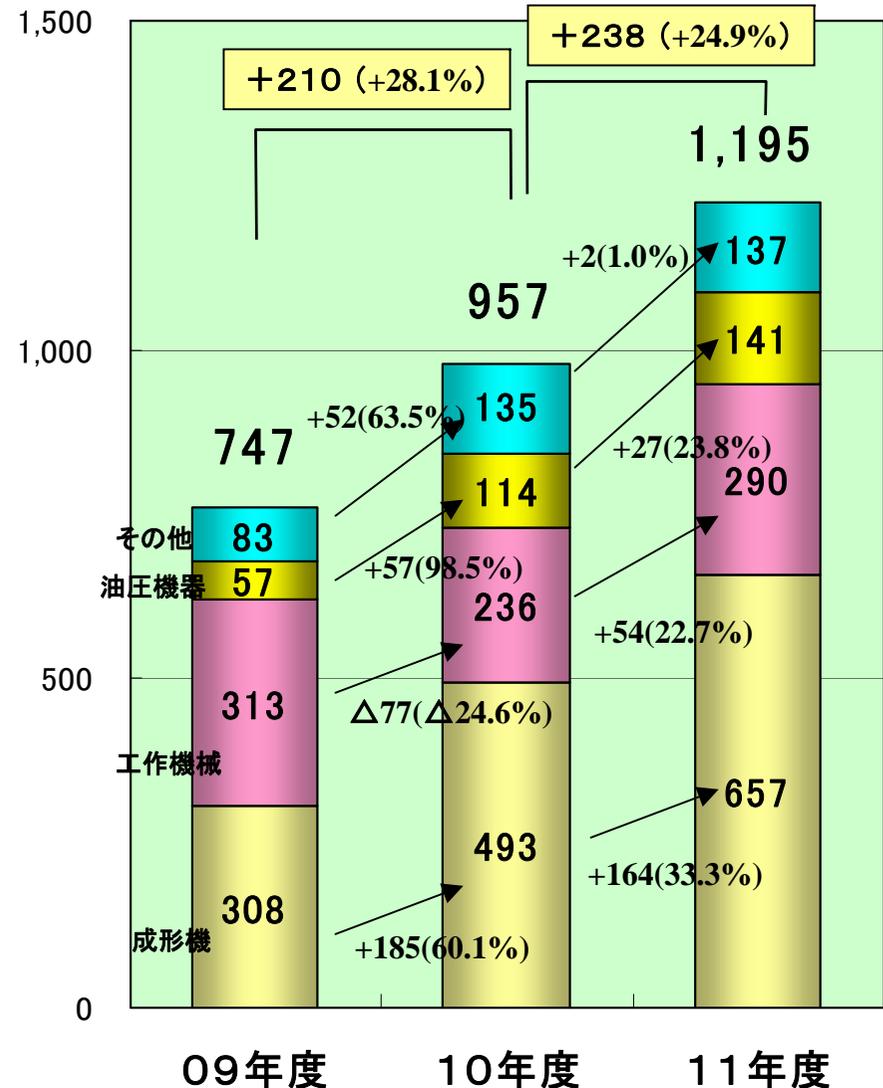
(単位:億円)

成形機 工作機械 油圧機器 その他



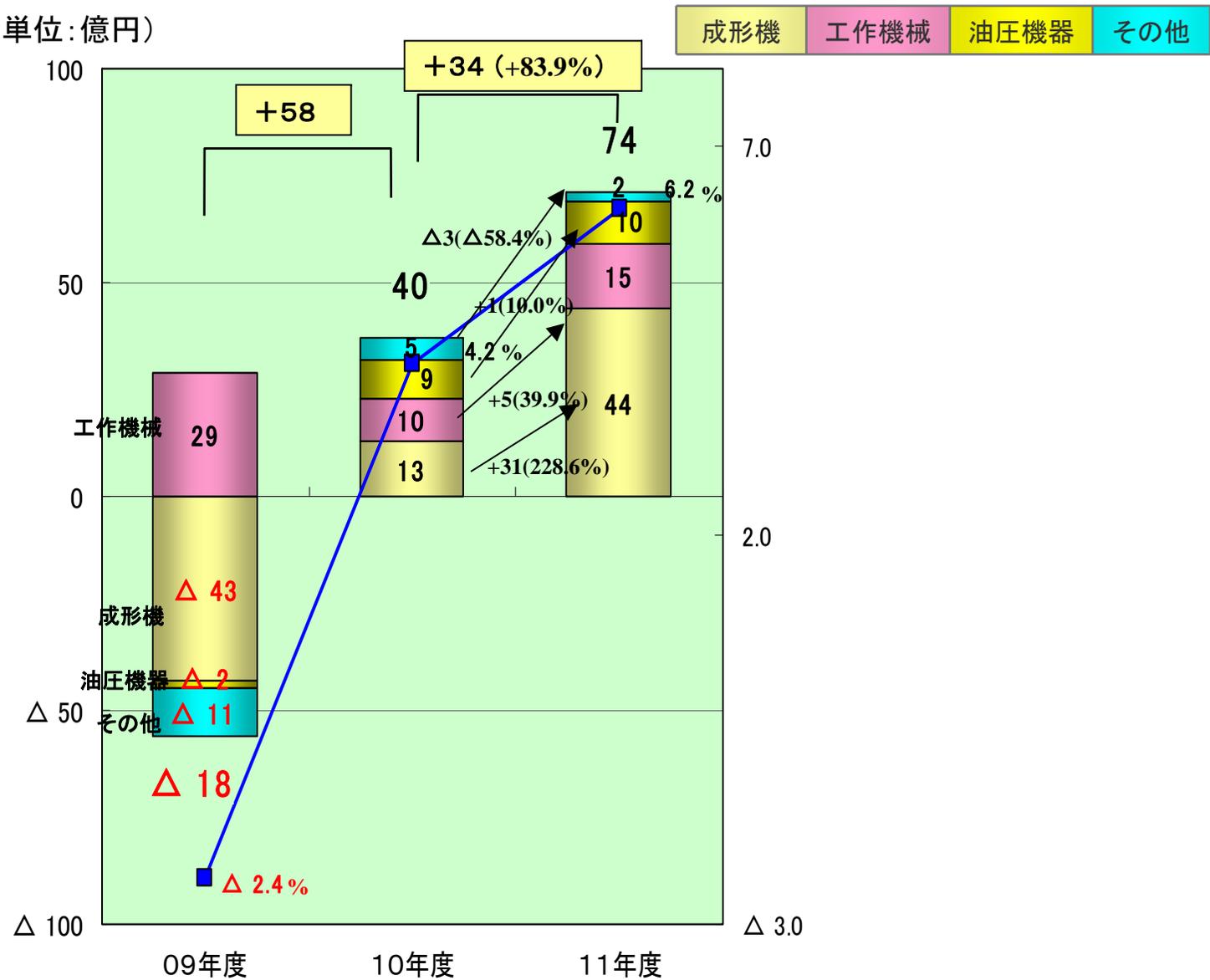
(単位:億円)

成形機 工作機械 油圧機器 その他



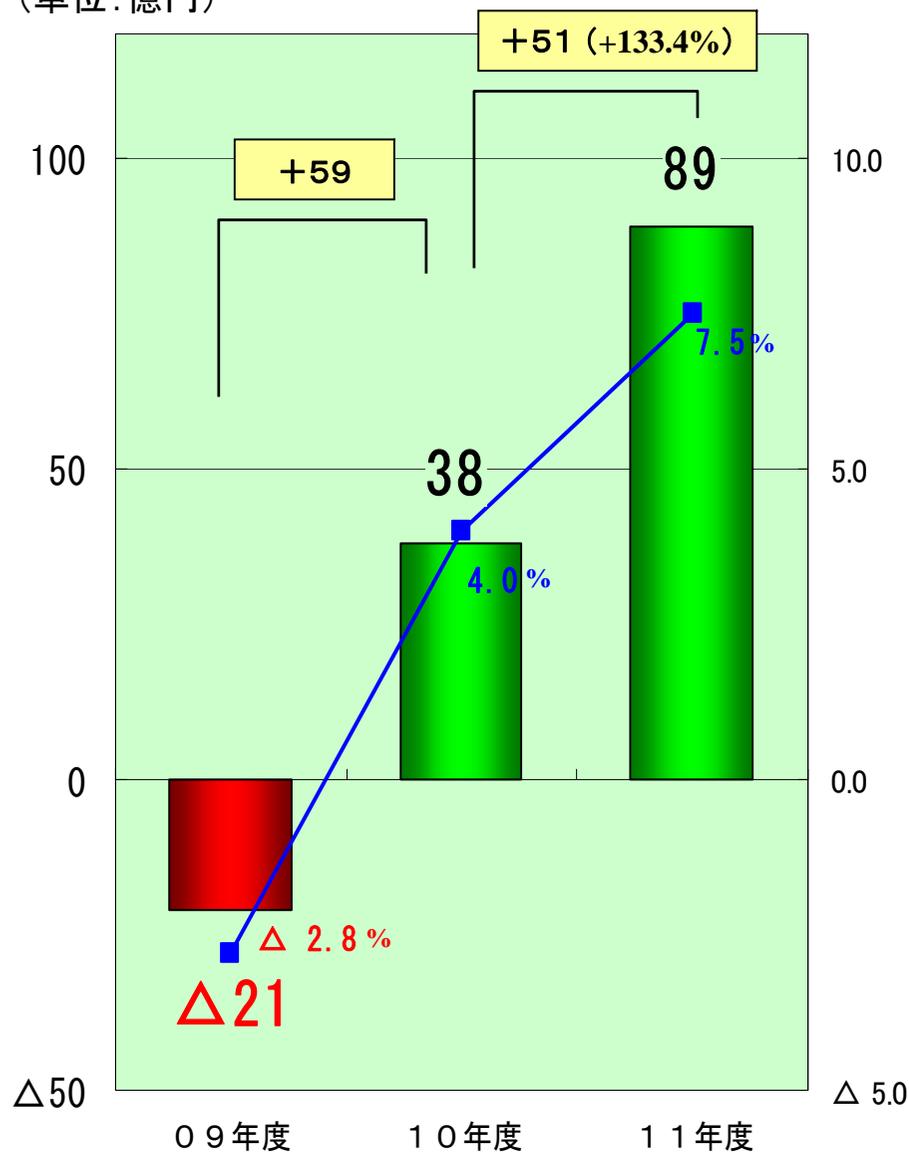
営業利益(セグメント)

(単位:億円)



経常利益

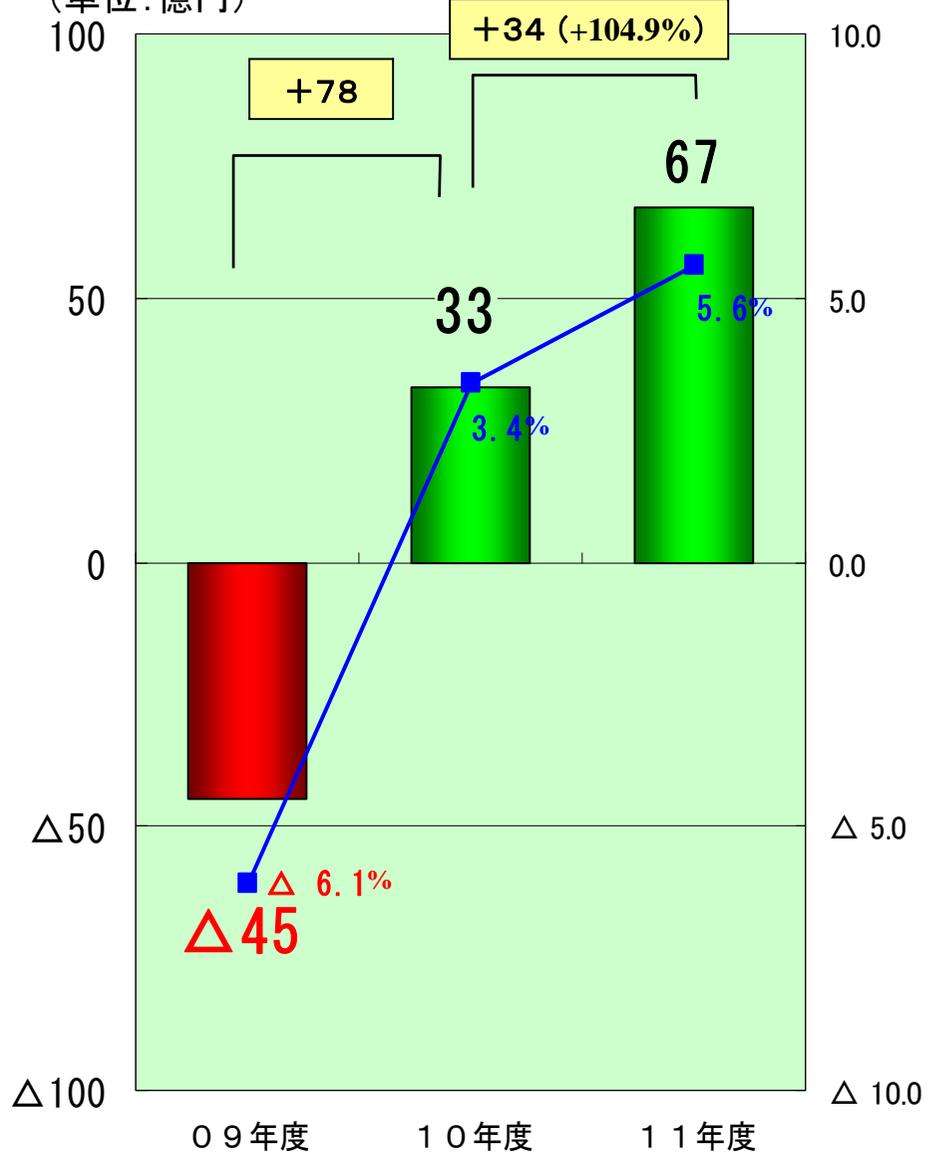
(単位:億円)



当期純利益

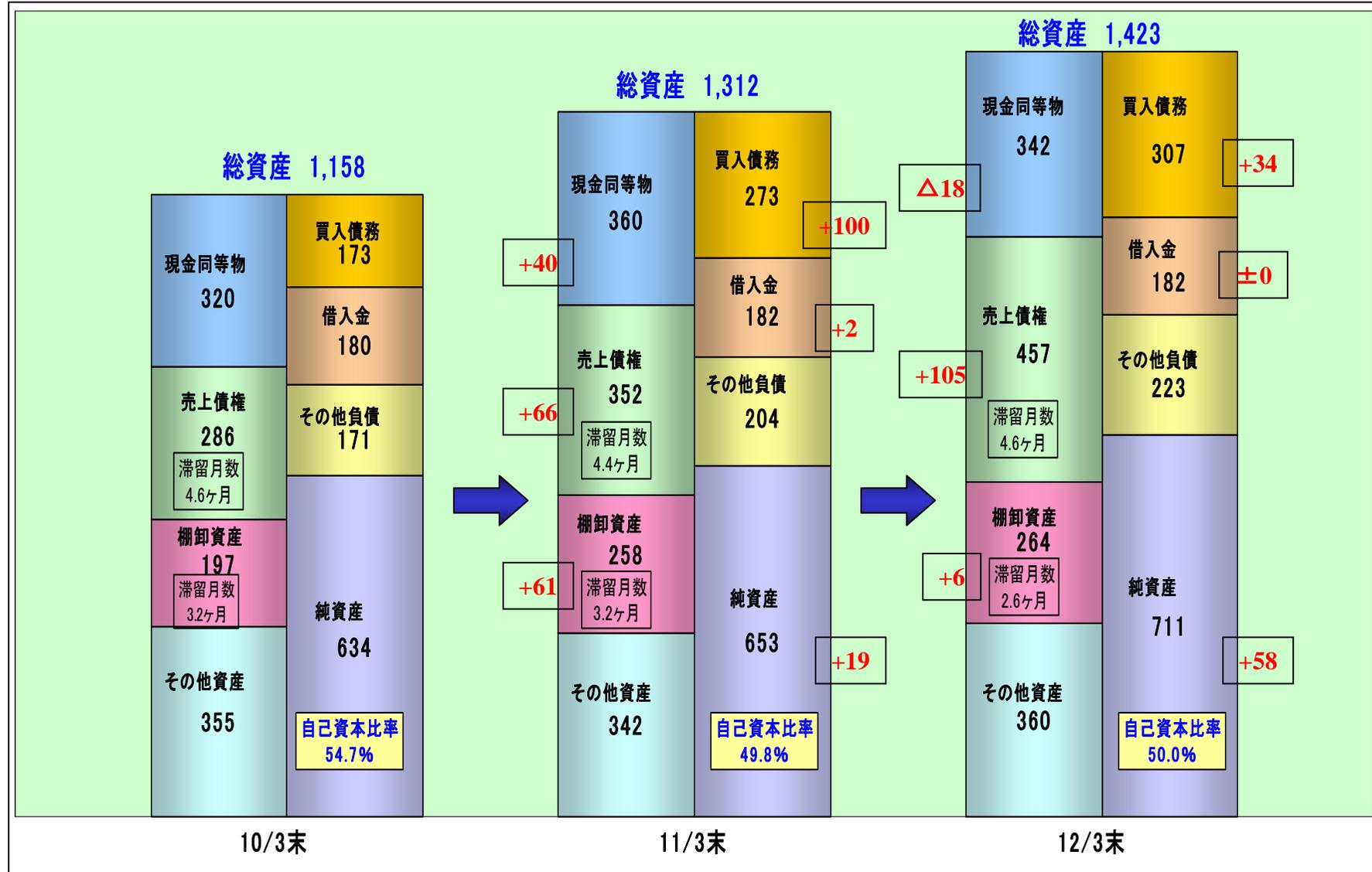
7

(単位:億円)

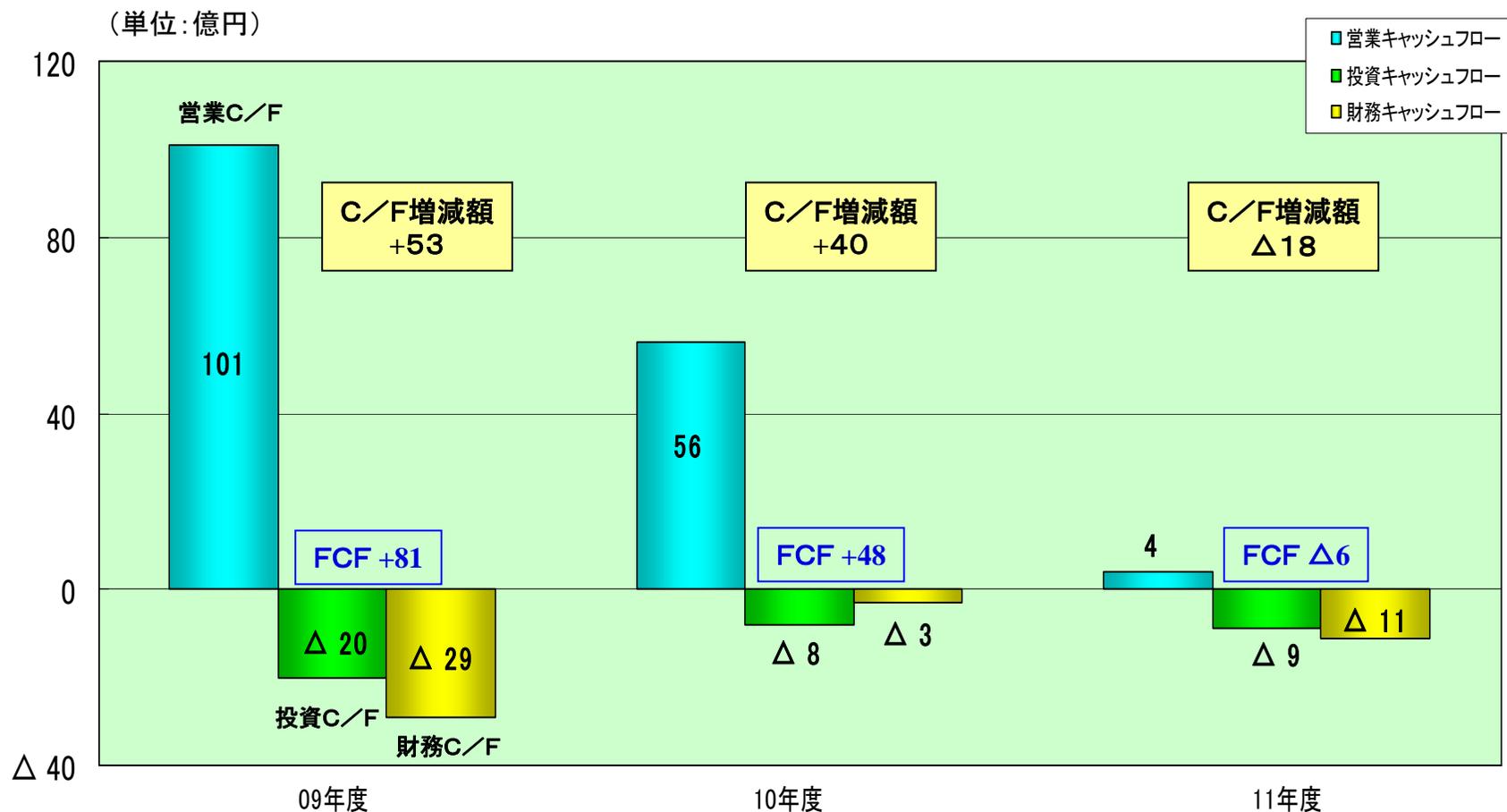


貸借対照表

(単位: 億円)



キャッシュ・フロー



	10/3末残高	11/3末残高	12/3末残高
現金及び現金同等物	320	360	342
借入金	180	182	182

主要財務比率

10

	09年度	10年度	11年度
売上高営業利益率	Δ2.4%	4.2%	+2.0% 6.2%
* ROE (当期純利益／自己資本)	Δ6.9%	5.1%	+4.8% 9.9%
* ROA (経常利益／総資本)	Δ1.7%	3.1%	+3.4% 6.5%

	10／3月末	11／3月末	12／3月末
自己資本比率	54.7%	49.8%	+0.2% 50.0%
借入金依存度	15.5%	13.9%	Δ1.1% 12.8%
D／E比率	28.4%	27.9%	Δ2.3% 25.6%
* 総資本回転率	0.60回転	0.77回転	+0.10回転 0.87回転

* 期首・期末の平均を使用

平成25年(2013年)3月期

業績予想(連結ベース)

配当予想

2012年度 業績予想

12

(単位:億円)

2012年度
1米ドル=78円を前提

2011年度
1米ドル=78円

	2012年度 (予想)	2011年度 (実績)	差異
売上高	1,280	1,195	85
営業利益	(6.3%) 80	(6.2%) 74	(+0.1%) 6
経常利益	(7.0%) 90	(7.5%) 89	(△0.5%) 1
当期純利益	(4.5%) 58	(5.6%) 67	(△1.1%) △9

受注高	1,335	1,231	104
受注残高	654	599	55

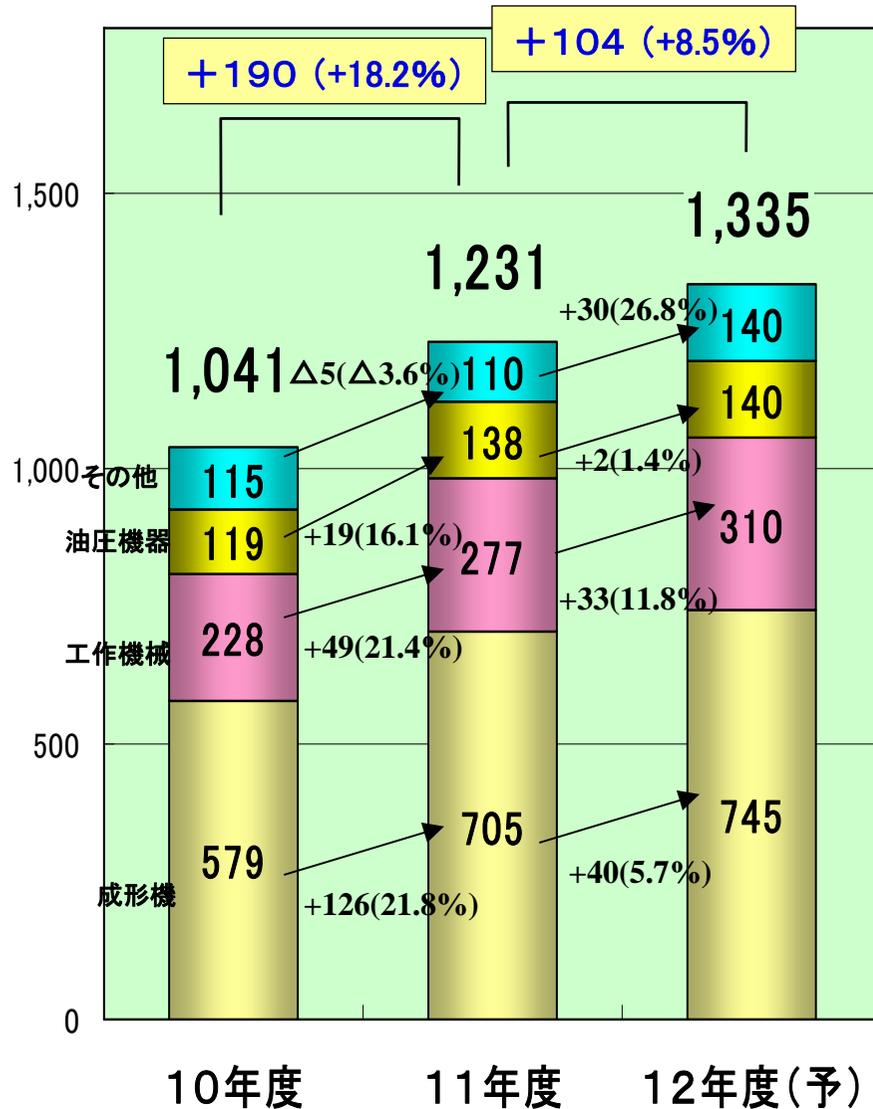
中国、東南アジアの新興国、北米を中心とした海外における需要により、前期比増収の見込み。
欧州の財政・金融問題、新興国の成長鈍化、長期化する円高、国内外企業との競争激化等
により予断を許さない状況。

税務上の欠損金解消に伴い、当期純利益は減益の見込み。

受注高(セグメント)

(単位:億円)

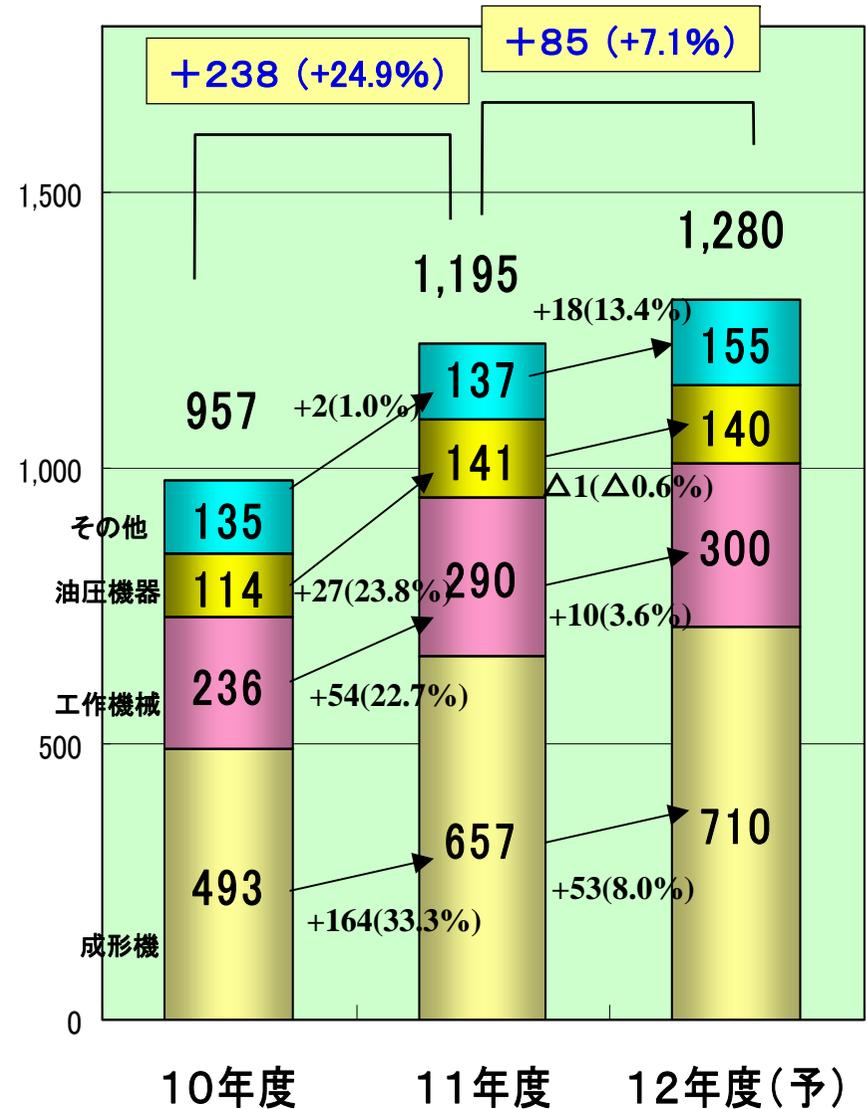
成形機 工作機械 油圧機器 その他



売上高(セグメント) 13

(単位:億円)

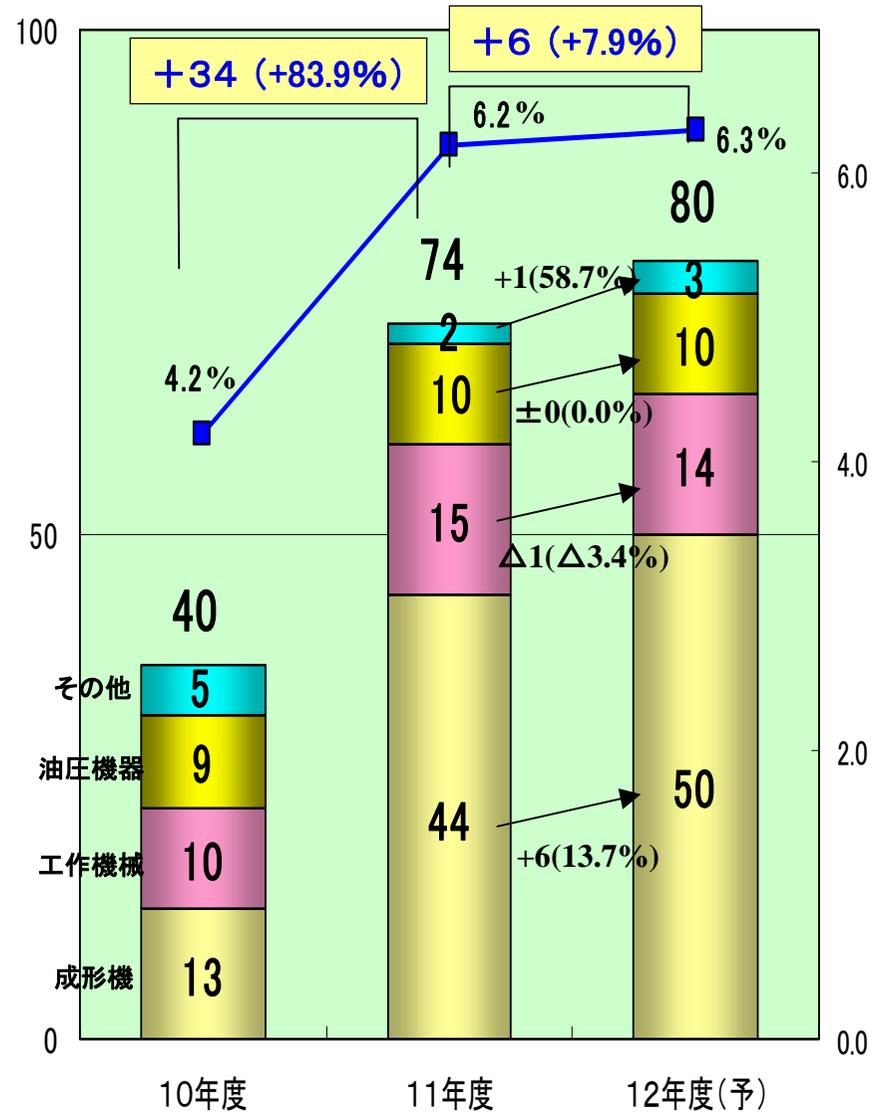
成形機 工作機械 油圧機器 その他



営業利益(セグメント)

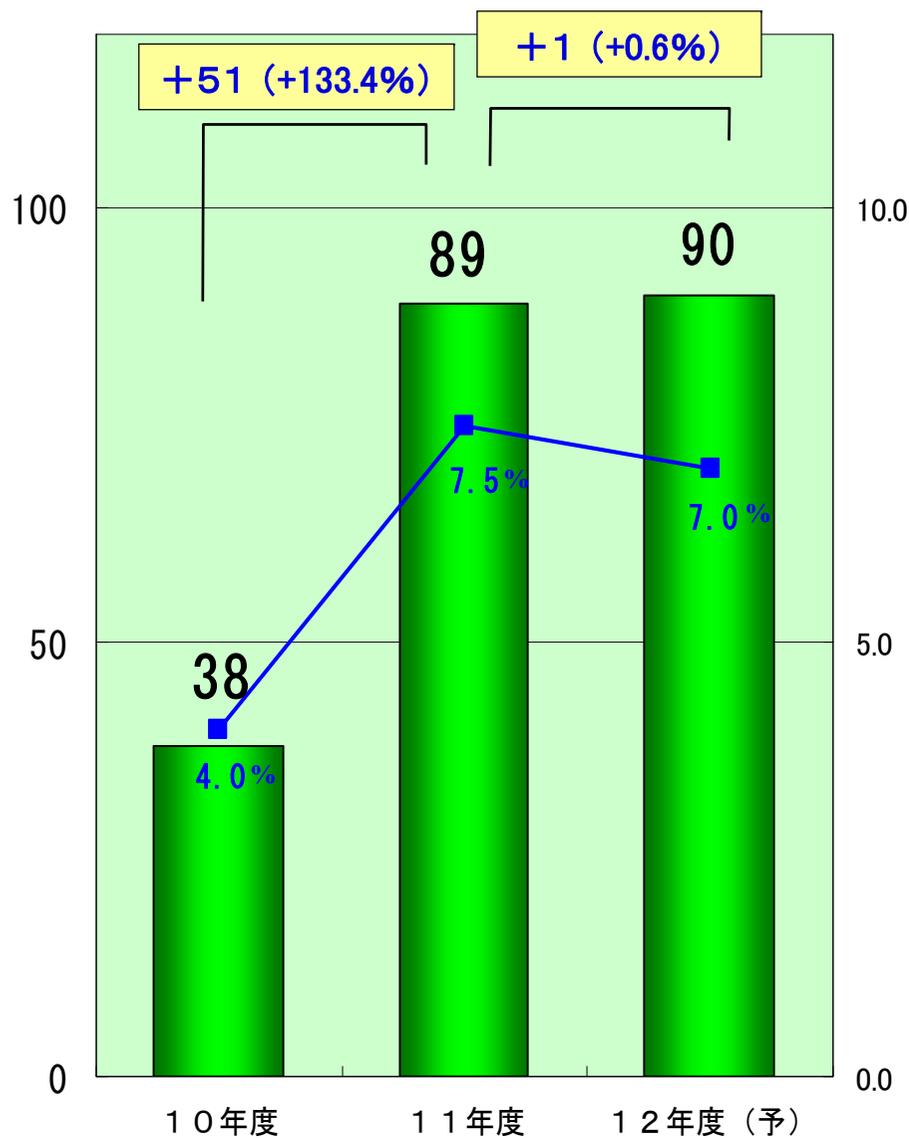
(単位:億円)

成形機 工作機械 油圧機器 その他



経常利益

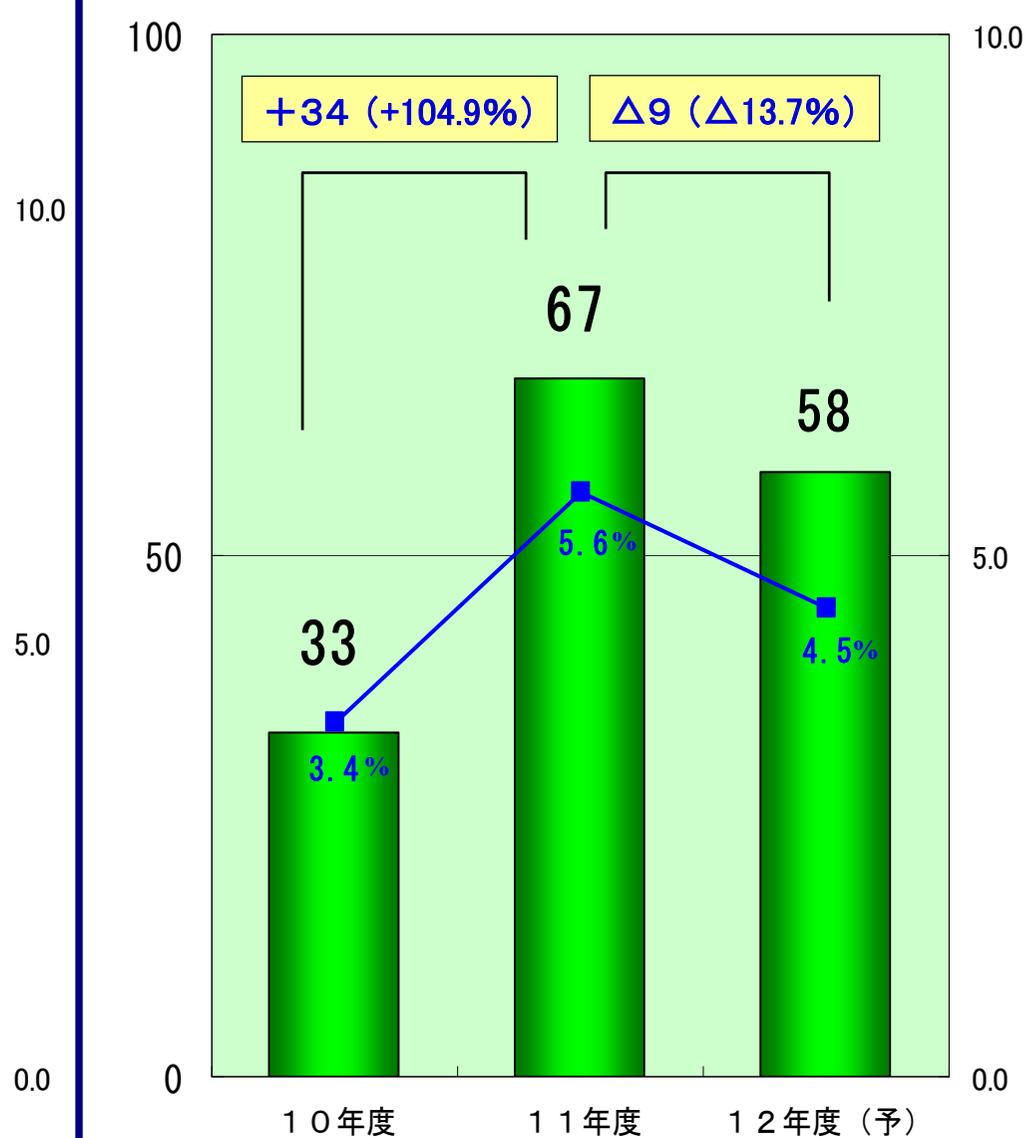
(単位:億円)



当期純利益

15

(単位:億円)



配当金の決定に関する方針

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としております。

また、内部留保資金につきましては、財務体質の強化とともに、企業の継続的発展のため将来の事業展開等を戦略的に勘案し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していく予定です。

(配当の状況)

	第2四半期末 (中間期末)	期 末	年 間	配当性向 (連結)
23年3月期	1 円 50 銭	3 円 00 銭	4 円 50 銭	20.9%
24年3月期	4 円 00 銭	5 円 00 銭	9 円 00 銭	20.4%
25年3月期	4 円 50 銭 (予想)	4 円 50 銭 (予想)	9 円 00 銭 (予想)	23.6%

以 上

本資料に記載している将来の当社業績に関する見通しは、現時点での把握可能な情報に基づいて作成したものです。

実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、これらの業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おきいただきますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ先

東芝機械株式会社 総務部

TEL : 055-926-5141

FAX : 055-925-6501

URL : <http://www.toshiba-machine.co.jp>